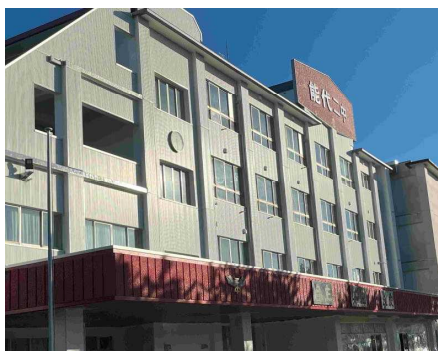


学校教育目標 自主・不屈・友愛の精神を身に付け、未来を創る生徒の育成



学校報「二中の木」



令和7年3月21日(金)

第23号 文責：校長 工藤 真弘

TEL：52-5138

全校生徒の思いあふれる空間：第78回卒業式



在校生送辞

3月9日(日)に第78回能代第二中学校卒業証書授与式を行いました。来賓には教育委員会教育長、同窓会長、PTA会長、体育文化後援会長、学校運営協議会委員、民生委員・児童委員、交通安全協会の方々をお迎えしました。

3年生の思いに呼応するように、在校生も一体となって感動的な式を創り上げてくれました。来賓の方々からも素晴らしい、感動したというお言葉をいただきました。

昨年度の卒業式も、全校生徒が一体となった感動的な卒業式でしたが、今回もその思いを引き継いでいることを心から嬉しく思います。



修了式：1年間の成長の振り返りを

この1年間、保護者や地域の方々のたくさんのご協力をいただき、充実した教育活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。本日の修了式で生徒たちに次のような話をしました。

【修了式の校長の言葉より抜粋】

先日の卒業式、3年生と一体となって素晴らしい式を創り出してくれたこと、心から嬉しく思います。皆さんが、3年生の思いに応えるように歌った「夜明け」は、会場全体が二中学生の温かい心で満ちあふれるようでした。

さて、今日は、修了式です。1学期や2学期の終業式とは違い、皆さん一人一人の学年の卒業式にあたる式です。ですから、通信表の最後には、修了証が入っています。

修了証には、昨年4月からの1年間を二中学生としてふさわしい学びができました、次の学年に進級できますよという証として、二中校長のはんこが押されています。皆さん、進級おめでとうございます。

1年間の締めくくりの修了式ですので、卒業式で3年生に伝えたことを改めて皆さんにもお話しします。これからは、変化を自分たちで創り出す、社会を自分たちで変化させる、未来を自分たちで創り出す時代です。未来を創る力は、自分の未来を創り出す力でもあります。能代二中は、変化を創り未来を創る人材が育つ学校です。

この1年間、私から見ても皆さんは、力を伸ばし、大きく成長しました。

まずは、この1年間の自分の成長をしっかりと振り返ってみてください。昨日の自分と比べても、成長していることには気付きにくいものです。でも、1年間を振り返ってみることで、自分の成長を実感できると思います。

2年生は、3年生が引退した後の部活動、のしろいちへの初参加、生徒会、はばたけ集会と経験を重ね、3年生から能代二中のバトンを確実に受け継ぎました。特に、三学期に入ってから、二中を背負う自覚が行動を通して伝わってくるようになりました。変化を生み出すために、まずは自分達をよい方向に変化させるという心意気がとても嬉しく頼もしく思います。能代二中を任せました。楽しみです。

1年生は、初めての中学校生活でしたが、部活動、二中若や二中祭など、2年生や3年生と一緒に活動しながら、二中学生の自覚を十分にもって、力一杯活動することができました。どこから見ても頼もしい二中学生、先輩になりました。後輩にかっこいい二中学生の姿を見せてあげてください。

今日、家に帰ったら、通信表を家の人に見せながらどんなことをがんばったのか、どんなことができるようになったか、振り返ってみてください。

振り返りの次は、自分のめあてを4月の始業式までに、しっかり考えることです。1つ学年が進んだ分、新しい自分になることができるチャンスです。どんな自分になりたいか、そのためにはどんなことをがんばればいいのか、しっかり考えてください。

最後に、いつもの約束です。「交通事故に十分注意して命を落とさない」ということです。